



**第55回日本交通科学学会** 2019年6月20・21日 八王子市学園都市センター  
主催：(社)日本交通科学学会、後援4省庁、協賛20団体 参加者約200名  
大会長講演「医工連携を基盤とした事故分析と救急医療システム」(益子邦洋)、  
名誉会長講演「医療介護よもやま話」(安藤高夫)を始め、永生会も学術講演会運営組織に協力した。市民公開講座(HEM-Net共催)「命を守る緊急通報～交通事故から突発する急病まで～」、特別講演3、シンポジウム3、パネルディスカッション3、ランチョンセミナー4、米国外科学会、JPTEC協議会共催コースと多彩なプログラムとなった。当法人からは、パネルディスカッション1 心損傷における医工連携交通事故分析 ミクロ調査から見えてきた現場へのフィードバック(朽方規喜)、一般演題9 高次脳機能障害他(座長：千野直一)、病院救急車におけるドライバー育成と安全教育(大橋)、医療機関における高次脳機能障害者を対象とした自動車運転支援の取り組みについて(西村)、重度肢体不自由者の座位保持装置が車両移送時の生体振動に及ぼす影響(石濱)の登壇・発表があった。

**第37回定例勉強会** 2019年5月20日 定員制実習 参加者18名

**簡易筋電計の作り方 制作実習** 講師：村岡 慶裕 研究開発センター顧問・早稲田大学人間科学学術院  
EMGフィードバック装置を、各参加職員が半田付けをしながら制作し、動作確認を行った。永生会では、外来リハビリを中心に、講師の村岡顧問が開発したIVES(OG技研製)やness200, ness300(フランスベッド社取扱)等の電気刺激装置を併用したりリハビリテーションを積極的に実践しています。  
右画像出典より制作動画閲覧可：<http://www.f.waseda.jp/y.muraoka/Simple-EMG-BF/4method.html>



**第38回定例勉強会** 2020年1月25日 参加者約55名

**永生病院における脊椎圧迫骨折に対するバルーン椎体形成術(BKP)術後ADLの特徴**

講師：今村 安秀 研究開発センター長/永生病院整形外科顧問  
**骨粗鬆症 基礎から UP-TO-DATE** 講師：町田 正文 先生 国立病院機構村山病院 前臨床研究センター長  
内容：永生病院・BKP術後FIMの良好な改善成績の報告、骨粗鬆症の進行機序、診断基準、骨リモデリング、薬物・運動療法と予防の重要性が講義された。町田先生は、永生クリニック・側弯脊椎専門外来を担当され、特発性脊柱側弯症で国際的業績を重ねておられます(Machida, M. et al eds, Pathogenesis of idiopathic scoliosis. Springer, 2018.)。



**2019年度 研究・検査機器勉強会** 2019年9月6日 参加者約30名

**重心動揺計による平衡機能検査方法と活用について** 講師：谷口・石濱  
参加者が模擬的に片側の膝関節可動域制限を40°設ける制限治具を装着した状態の荷重率・軌跡長・足圧中心の変化を予測する仮説を立案し、グループワークで計測・検証する実習を実施した。結果は、関節可動域制限側への荷重率高値/低値群に分かれ、臨床評価への示唆が得られる勉強会となった。



**国際学会・論文**

Suzuki, T., Ryu, K., Kojima, K., Oikawa, H., Saito, S., & Nagaoka, M. The Effect of Posterior Tibial Slope on Joint Gap and Range of Knee Motion in Mobile-Bearing Unicompartmental Knee Arthroplasty. The Journal of arthroplasty, 34(12), 2909-2913. 2019.  
ISPRM2019 June. 12. Kobe. History of Rehabilitation Medicine in Japan, in Joint Session JARM: Lessons from the History of Rehabilitation Medicine. Chino, N. ISPO 17th World Congress. October 6, 2019, Kobe. Pressure Distribution Characteristics Against Human Body and Human Body Model Seated on Various Seat Cushions. Ishihama, H.  
Rory A. Cooper, et al. (著)、並木重宏、熊谷晋一郎、畠中規、石濱裕規(訳)、科学・技術・工学分野の実験室をアクセシブルにする方法:ピッツバーグ大学人間工学研究室の取り組み、リハビリテーション・エンジニアリング、34(4)、138-146、2019。

**論文・書籍(国内)**

益子邦洋、関裕、他: 病院救急車の運用は消防救急車による病院間搬送件数の削減を加速する、日医雑誌、148巻12号:2451-6、2020。  
益子邦洋(分担): 出血性疾患、急性腹痛、総編集: 南学正臣: 内科学書改訂第9版、Vol.1、内科学総論・臨床症状、中山書店、2019。  
大橋聖子、他(分担): 地域生活の継続を支える救急医療と地域の見守りの連携と課題—東京都八王子市の取り組みから、杉崎千洋 他編著: 単身高齢者の見守りと医療をつなぐ地域包括ケア 先進事例からみる支援とネットワーク、中央法規出版、2020。  
佐藤高雄(分担): 出血栄養障害および褥瘡/低栄養と過栄養、田中弥生・手塚順子編著: 食介護実践論 食へることへの支援 実践情報編、第一出版、2019。  
安藝佐香江、他: 回復期・慢性期病院における入退院支援室と病棟それぞれの取り組み、地域連携 入退院支援と在宅支援、No11・12、2019。  
山本徹: 訪問言語聴覚士が関わる当事者の意向を反映させた摂食嚥下リハビリテーション、コミュニケーション障害学、36(2)、56-60、2019。  
是枝志歩、他: 人をもてなすという役割が作業同一性の再認識に至った事例～お茶入れが作業的存在に与えた影響～、作業行動研究 23(1)、18-25、2019。  
上野繕広: 失語症患者さんの参加・活動支援、臨床作業療法、16(3)、2019。  
加茂永梨佳、三宅英司、浅井憲英、金子弥樹: 意味性認知症者に対する通所リハビリテーションにおける家事支援—絵とりハビリテーション会議を用いた作業療法により主婦の役割を維持した一例—、作業療法、39(5)、623-629、2020。  
多良淳二、小池順平、中野文江、三井奈々乃: 介護予防機器利用者における自分史を活用した運動及び意欲に関する研究、2018年度研究助成・事業助成・ボランティア活動助成報告書、フランスベッド・メディカルホームケア研究助成財団、2019。等々

**看護師とコメディカルのためのFIM講習会** NPO法人東京多摩リハビリ・ネット

- ◆2019年7月14日(日)(共催: 杏林大学リハビリ医学教室)  
第29回基礎編: 160名 第14回応用編: 79名
- ◆2019年10月20日(日)(共催: 北里大学保健衛生学部リハビリテーション学科)  
第30回基礎編: 261名
- ◆2019年12月8日(日)(共催: 杏林大学医学部リハビリ医学教室)  
第31回基礎編: 158名 第15回応用編: 64名
- ◆2020年2月2日(日)(共催: 埼玉医科大学国際医療センター運動・呼吸器リハビリテーション科)  
第32回基礎編: 220名

**お知らせ**

2007年4月発足以降、永生会の研究開発を推進してこられた千野直一センター長が、2019年6月末をもってご退任されました。多大なるご貢献に深謝申し上げます。後任の今村安秀新センター長(兼: 永生病院整形外科顧問)と共に新たに研究開発体制を推進しております。

## 学会

- 第20回日本認知症ケア学会** (2019年5月25-26日 京都) 精神科病棟における「人生の最終段階」の栄養手段について一言語聴覚士の関わりからの考察(白波瀬) 加齢に伴う終末期におけるリハビリテーションの効果 リハビリテーション職の役割についての文献による検討(野口)
- 第56回日本リハビリテーション医学会** (6月12-16日 京都) 座長:生活期リハビリテーション医療の役割(千野)、人工膝関節前後の立位バランスに及ぼす加齢の影響(今村)、褥瘡学会合同シンポジウム 褥瘡患者に提供できる作業療法技術(岩谷)
- 第20回日本語聴覚士学会** (6月12-16日 大分) **6題** 言語聴覚療法部門の管理業務の現状と課題(白波瀬)、当院医療療養部門における終末期がん患者への食支援の現状と取り組み(鈴木章)、八王子市介護予防・日常生活支援総合事業への言語聴覚士の関わり(山本)、急性期病院での集団摂食訓練・指導による食事ADLの改善効果(近藤)、急性期病院での集団摂食訓練・指導の有効性と今後の課題(上澤)、構音障害および吃音の訓練待機児の減少に向けた取り組み(亀井)
- 第64回日本透析医学会** (6月28-30日 横浜) 手指SPP値に影響を与える条件の検討(吉田)、不明炎症を呈した血液人工透析患者の再発性多発性軟骨炎の一例(金丸)
- 第40回全国デイケア研究大会** (7月12-13日 宮崎) 通所リハビリテーションにおけるLife-Space Assessmentの短期的改善に関する要因とその影響度(伊計)、通所リハビリテーションの利用期間別にみたTUGとLSAの関係(大塚)
- 第25回日本心臓リハビリテーション学会** (7月13-14日 大阪) **3題** 当院の循環器疾患で自宅退院となった患者の膝伸展筋力の年代別における傾向と実態(安藤一)、安静臥床により歩行能力低下を来した超高齢心不全患者に対し瞬発的な筋力発揮に着目した介入が奏功した一例(五十嵐)、当院における超高齢認知症が及ぼす日常生活動作(ADL)回復への影響(倉田)
- 第1回日本在宅医療連合学会** (7月14-15日 東京) シンポジウム:地域包括ケア病棟への転換の検討と在宅医療との連携(飯田)
- 第5回地域包括ケア病棟研究大会** (7月25日 東京) 地域包括ケア病棟での効果的な退院支援のための3年間の取り組みと今後の課題(木野田法)
- 第61回日本平滑筋学会総会** (8月1-3日 名古屋) 2,3-fluoro dinitrobenzeneはスキンド平滑筋の弛緩過程を遅延させる(大塚)
- 第34回リハ工学会カンファレンス** (8月21-23日 札幌) 特別企画:「リハ工学と看護・介護」持ち上げない介護、座圧分布とトータルコンタクトの関連性の検討(石濱)
- 第21回日本褥瘡学会** (8月23-24日 京都) 教育講演:褥瘡患者のリハビリテーション医療「褥瘡患者の提供できる作業療法技術」(岩谷)
- 第53回日本作業療法学会** (9月6-9日 福岡) **9題** アレン認知レベルの要素を加味した新たな評価尺度の紹介とその信頼性一折り紙一(淺井)、短時間通所リハビリテーションにおける家事支援-MTDLPを利用した作業療法により主婦役割を再獲得した一事例一(加茂)、セルフモニタリングの導入により、就労準備支援を進めることができた一症例一(古澤)、生活機能向上連携加算により訪問介護員と連携し生活機能が向上した一事例一(藤木)、認知機能の低下がトイレ動作に及ぼす影響一入院時におけるトイレ使用者の分析から一(清水)、重度アルツハイマー型認知症患者の社会的支援技術の特徴一社会的交流技能ESIを用いた検討一(野口)、回復期病棟での外泊チェックシートを活用した退院支援の取り組み一自宅生活の課題と介助の程度を家族が理解できた一症例一(金子)、外来リハビリにおいて自己認識と呼吸指導によりADLの向上と経皮的酸素飽和度の改善に繋がった一症例一(石川)、作業療法カウンセリングを取り入れた訪問作業療法により行動変容が促された事例(藤木あ)
- 第3回在宅救急医学会** (9月7日 東京) 急性期病院が在宅医療に取り組み意義(加藤宏)、司会:ランチョンセミナー『住宅や施設で「急変した時どうするか、不要な搬送を減らせるか?」(益子)
- 第28回日本心血管インターベンション治療学会** (9月19-21日 名古屋) シンポジウム:カテ室における医療安全「災害時におけるカテ室の対応とシミュレーション」(植原)、当院におけるPCI前後の左心機能変化の比較検討(斎藤麻)、当院での被ばく線量低下への取り組み(古谷)
- 第61回全日本病院学会** (9月28-29日 名古屋) **16題** (南多摩病院) 益子、秋庭、田中尚、御子柴、田井、山村、(永生病院) 秦、青木、安川、魏、五十嵐将、(みなみ野病院) 荒尾、金森、諫山、(永生クリニック) 三宅、有元 市民公開講座「人手不足もなんのその! ~医療介護と外国人労働者~」(安藤高夫)、委員会企画「医療事故調査制度と医師法21条の解釈」(安藤高夫)
- 第17回日本神経理学療法学会** (9月28-29日 横浜) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症により多発性単神経炎を生じた患者に対し長期的な理学療法を施行した症例(榎尾)
- 第47回日本救急医学会** (10月2-4日 東京) **3題** 二次救急の病院救急車がこれからの救急医療を救う(朽方)、中小規模の民間病院が開催する大規模災害訓練(朽方)、超高齢社会における救急医療~二次救急病院の役割~(加藤宏)
- 第49回日本腎臓学会東部学術大会** (10月4-5日 東京) 溶連菌感染後急性糸球体腎炎(PSAGN)に直接ケームス試験一過性陽性化を伴う血栓性微小血管症(TMA)を合併した一例(井上暖)
- 第7回日本運動器理学療法学会** (10月5-6日 岡山) **5題** TKA 術後Joint lineの変化が術後伸展可動域及びextension lag に与える影響について(谷口)、大腿骨内顆骨折術後に膝屈曲可動域制限を生じ、超音波療法と徒手の介入を併用して改善に至った一症例(鈴木涼)、HbA1c 値及び糖尿病の有無がTKA 術後の膝関節屈曲可動域に与える影響について(井上)、人工膝関節置換術後患者のデュシェンヌ現象を出現させる因子の検討(山崎)、大腿骨近位部骨折患者の転帰先決定の要因に関する検討(古川)
- 第21回認知症グループホーム大会** (10月12-13日 青森) 10年を迎え新たな地域との取り組みについて(太田)
- 第57回日本癌治療学会** (10月24-26日 福岡) 肝原発PEComaの1例(山本隆)
- 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会** (10月26-27日 群馬) 虚血性心疾患を合併した慢性腎臓病患者に対し低強度高頻度トレーニングが有効であった一症例(五十嵐康)、大腿骨頸部骨折を呈したパーキンソン病患者に対する理学療法の検討について(望月佑)
- 第95回多摩医学会** (11月9日 東京) 病院救急車の運用による消防救急車の負担軽減効果(益子)、当院で行った通所型短期集中予防サービスの紹介と課題について(安藤達)
- 第6回日本呼吸理学療法学会** (11月10日 名古屋) 肺動低換気症候群の肺炎合併例に運動療法でCO2 ナルコーシス増悪を回避した症例(安藤一)、体動で低酸素血症を来した特発性肺線維症患者を自宅退院に導いた一症例(萩原)
- 第30回全国介護老人保健施設記念大会** (11月20-22日 大分) **3題** タブレット端末を利用した運動及び意欲に関する研究(多良)、パソコンで文章を打ちたい(中村典)、リハビリ会議で混乱解消! ~短期間で自立へ~(澤邊)
- リハビリテーション・ケア合同研究大会** (11月21-22日 金沢) **4題** 臨床の動機付け着目したことでリハビリ意欲が向上し自宅退院に立った症例(嶋崎充)、開設2年目の回復期リハビリテーション病棟におけるリハ科職員意向調査の報告(星本)、地域在住高齢者における包括的な運動教室の基本チェックリストによる効果判定(三宅)、地域リハビリテーション支援センターにおける介護支援専門員とリハビリテーション専門職に対する医療介護連携研修の取り組み(井出)
- JDDW(日本消化器系関連学会) 2019** (11月21-24日 神戸) 高齢者の大腸内視鏡における挿入性Polyp Detection Rateの検討(好川)、ハイポラ鉗子を用いたClush-Clampによる肝区域切除の手術成績(山本隆)
- 第33回日本泌尿器内視鏡学会** (11月21-23日 京都) 複数回のTULを要した症例についての検討(宮野)
- 第10回日本炎症性腸疾患学会** (11月29日 福岡) 急性膀胱炎を合併した全結腸型の潰瘍性大腸炎に対して顆粒球除去療法を施行した一例(好川)
- 第32回日本外科感染症学会** (11月29-30日 岐阜) 無症候性総胆管結石・胆嚢内結石症例の胆汁内細菌の検討(山本隆)
- 第27回日本慢性期医療学会** (12月3-4日 大阪) **18題** 山下、櫻井、野田頭、大塚、安川、柳川、伊東、大野雄、鈴木章、内村、水島(永生病院)、三宅、大塚(永生クリニック)、関、徳丸、橋本、三輪(南多摩病院)、大原(みなみ野病院)、シンポジウム:ACP(アドバンス・ケア・プランニング)~その理解と実践~(斎藤あ)
- 第32回日本内視鏡学会** (12月5-7日 横浜) 腹腔鏡下手術を施行した無症候性総胆管結石・胆嚢内結石症例の胆汁内細菌のサーベランス(山本隆)
- 第70回日本救急医学会関東地方会** (2020年1月24-26日 群馬) シンポジウム:救急医療と在宅医療の連携「当施設が目指す救急医療と在宅医療の連携」(加藤宏)、病院救急車活動時間延長に対する効果(金子)
- 第23回日本病態栄養学会** (1月24-26日 京都) リハビリテーション情報提供書と栄養情報提供書における情報一元化による業務改善への取り組み(松葉)
- 第10回腎臓リハビリテーション学会** (2月22-23日 東京) 血液透析患者の握力数値はシャントの有無で変化しない(田井)、血液透析患者の手指機能と握力の関係(萩原)
- 第14回東京都病院学会** (2月23日 東京 中止) **13題** 川崎、島崎貴、奈良田、倉崎、大内、眞家、出雲(永生病院)、近藤理、永田、磯部、佐藤雅(南多摩病院)、石濱(2題)
- 第7回慢性期リハビリテーション学会** (2月27-28日 岡山 現地開催中止一部Web配信) **8題** 穴澤(永生病院)、安藤達、野長瀬、宮武、吉野(永生クリニック)、木村、川島広、星本(みなみ野病院)
- 第35回日本臨床栄養代謝学会** (2月27-28日 京都 中止) コラーゲンペプチド、ビタミン、ミネラル配合栄養補助食品の経口摂取の皮膚脆弱性所見の改善効果(野本) 等々